

2024.3.7 (木)
第 32 回例会
(通算3747回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (紋別港 RC)

月間テーマ

青少年奉仕月間

本日のプログラム

「嵯峨記念奨学生卒業報告会」(嵯峨記念育英会委員会)

次週例会

「今日は福司を愉しむ日」(職業奉仕委員会)

■ロータリーソング：君が代・奉仕の理想 ■ソングリーダー：小野寺 俊君

■会員数 103 名

■ビジター

■ゲスト 釧路江南高校 岡田 葵様・釧路東高校 長谷川 純稟様・お母さま 長谷川彩美様

会長の時間

後藤 公貴会長



皆さん、こんにちは。今日はゆっくりとお食事をとっていただけたかなと思います。

本日、ご来訪いただいております嵯峨

記念育英会奨学生でご卒業されるお二人、本当にご卒業おめでとうございます。

私は釧路ロータリークラブに入って良かったと思う例会が今日のこの例会なのです。嵯峨記念育英会の奨学生の皆さんを支援する姿勢、そして、ご卒業される皆さんが3年間の思い出と苦労されたこと、そして前を向いて、これから自分の夢に向かって嬉々として語っている姿から自分ももっともっと頑張らなければという勇気をいただくのです。そして18歳のころの自分を思い返して、ああ、時が戻ればいいと思うのが毎年のこの例会です。

今年ご卒業される皆さんは4名様と聞いております。新型コロナウイルスが直撃の世代だったのではないかと感じております。満足なというか窮屈な高校生活を送られたかなと思うのですが、それはそれで、ひとつの思い出ではあるかと思えますし、これから先の長い人生の中でこの経験が素晴らしい経験だった、良い経験だったと思う日が必ずやって来ると思えます。

本日は後ほど、皆さまの思い出、将来の夢を語っていただければと思っています。

ひとつだけ願望があります。これから夢に向かって旅立って、それぞれの地でご活躍、そして勉学に励むことになると思うのですが、ぜひ、皆さんが生まれ育った街、故郷の釧路に戻って来て、この地でご活躍されるという選択肢もお忘れにならないように、頭の片隅にとどめて置いていただきたいと思います。

そして、このおじさんたちは釧路をもっともっといい街にして行くように頑張っていくことをお誓い申し上げたいと思います。

この例会を楽しみにされている皆さんもたくさんいらっしゃると思います。今日も豊かな時間を皆さんで共有して、いい一日にしまいましょう。

本日も一日、よろしく願いいたします。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。30年前の私を見ているようでございます。

それでは、幹事報告になります。本日のロータリーレートは151円となり、先月より4円の円安が進んでおります。

次に、次週14日の夜間例会ですが、出欠の締め切りが昨日までとなっております。もし、参加可能な方がいらっしゃいましたら本日中に、私か大山さんに

ご連絡をお願いいたします。

以上です。

■本日のプログラム■
嵯峨記念奨学生卒業報告会

嵯峨記念育英会委員会 西村 智久委員長

皆さん、こんにちは。奨学生2人を迎えての嵯峨記念育英会委員会の卒業例会を開催したいと思います。

各テーブルに3枚ほどの資料を置いております。毎年行っているのので、いらない方もたくさんいると思って3枚だけ、興味ある方に持ち帰っていただければと思います。

平成23年に公益財団法人の認可をとって、それから基金を取り崩せるという段階になり、給付金の心配がなくなったと安心していたのですが、実際に取り崩すことになることととも不安を感じているのが現状です。釧路ロータリークラブ様の寄付金が大変心強いところですので、くれぐれも今後もよろしく願いいたします。

本日は、5名の奨学生がいたのですが、お一人が通信制有朋高校に移りましたので今年は卒業しておりません。来年の卒業となります。

メッセージをお二人からいただいております。ご本人出席がお二人です。まず、メッセージを高橋副委員長に代読でご披露していただきます。よろしく願いします。

メッセージ代読

嵯峨記念育英会委員会 高橋 直人副委員長

今日は副委員長という立場で報告させていただきます。

橋田さんと石村さんが今日欠席です。橋田さんは後期の大学受験が近づいているため欠席です。石村さんは既に釧路にいない状況で、札幌の学校が決まっております、そちらに行かれていて欠席です。それでは橋田さんから代読させていただきます。

釧路ロータリー嵯峨記念育英会の皆さま、こんにちは。私は湖陵高校3年1組の橋田明と申します。

私は3年前に奨学生となり、この度、湖陵高校を卒業することになりました。長い間、私の学びと成長を支えていただいたことを心より感謝申し上げます。私は釧路湖陵高校の理数科に入学し、今まで勉学に励んでまいりました。また、空手道部に入部し、全道大会・全国大会にも出席しました。そして、2年になってから部長として部をまとめるのに、湖陵生として奨学生として全力を尽くしてまいりました。

この3年間で大きく成長し、勉強や部活動に専念する

ことができ、自分の夢を追求する素晴らしい機会を得ることができたのは、ひとえに皆様の多大なご支援があったからこそです。このご恩を一生忘れません。そしてこの度、高校を卒業し大学と進路を進めることになりました。関東圏の大学に進学する予定で、高校での学びと経験を生かし、更に知識を深めて行きたいと思っております。

私が進学する予定の学部は、総合学域群という名称です。1年時は特定の学位に所属せず、幅広い分野を学び、2年時に専攻する学群を決めるという仕組みになっています。このような制度を生かし、幅広く学び、様々なことに挑戦したいと考えています。特に海外留学に積極的に取り組んでいます。国内だけでなく、海外で学ぶということをとおして、様々な価値観にふれ、新たな学びをやれると考えているからです。

今後の大学での学びをとおし、今いる釧路市、釧路町、そして故郷の弟子屈町の発展に貢献していける人材になれるよう、より一層努力してまいります。最後になりますが、これまでのすべてに感謝申し上げ、貴団体の繁栄と皆さま方の更なる成功を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

というメッセージをいただいております。橋田様でございます。

では、石村様のメッセージを読みます。

3年間という長きに亘り、奨学金をご支援いただき本当にありがとうございました。ご支援のおかげで学業はもちろん、生徒活動や部活動に専念することができました。学校生活を思い返すと楽しいことばかりではなく、多くの学びと気づきに出会えた充実した3年間となりました。

卒業後の私の進路ですが、北翔大学教育学科養護教諭コースに進学いたします。今まで支えて下さった方のご期待に添えるように大学生活では今まで以上に日々の努力を大切にし、立派な社会人になれるよう精進してまいります。

最後になりましたが、あらためて3年間のご支援、本当にありがとうございました。皆さまのご健勝とますますのご発展を祈願申し上げます。

嵯峨記念育英会委員会 西村 智久委員長

高橋副委員長、ありがとうございました。やはり、本人が来ないとあまりグッとこないものだなと思いましたが、それでは、これからグッとくる卒業報告をいただきたいと思っております。

最初に、釧路江南高校を卒業されました岡田葵さん、よろしく願いいたします。

釧路江南高校 岡田 葵さん



はじめまして。釧路江南高等学校3年の岡田葵です。本日は、このような会に参加させていただき本当にありがとうございます。

私は、高校入学時の文書での決意表明の際、勉強と部活の両立、そして検定の取得やボランティアに参加など多くの物事に挑戦するという目標を掲げました。部活動では小学生の時にやっていた書道部、そして以前から興味があった茶道部に入部しました。兼部することの難しさを改めて実感し、マイナスに考えてしまうこともありました。顧問や仲間、先生方など多くの人の支えのおかげで書道では全国大会に参加し、茶道部では学校祭でお茶会を開催することができました。忙しくて大変でも、少しずつ着実に努力を重ねて行けば大きな夢や目標を成せるということ、身をもって学ぶことができました。

勉学の面では、中学生の時から進学したいと考えていた釧路市立高等看護学院に推薦入試で合格することができました。定期テストはもちろん、普段の日々の小テストなども気を抜かずに勉強して受けていたことで推薦入試を受けることができました。

また、英語検定、漢字検定では2級を、数学検定では準2級を取得することができました。他にも、釧路湿原マラソンのボランティアや赤い羽根共同募金のボランティア、釧路霧フェスティバルのボランティアなどに参加し、釧路市民の人の温かさに触れることができました。

最後になりますが、私は、生まれ育ったここ釧路が大好きで、多くの支援をくださった釧路に住む皆さんが大好きです。感謝の気持ちを忘れず、今度は私が皆さんを支えられるような看護師になれるように精一杯頑張っています。

本当に3年間、ご支援いただきありがとうございました。

釧路東高校 長谷川 純稟さん

釧路ロータリークラブ嵯峨記念育英会の皆さまには、3年間のご支援にとっても感謝いたします。

私は、北海道釧路東高等学校を卒業いたしました。高校1年生からの夢である看護師を目指し、高校生活では学業と部活動、ボランティア活動を主に頑張ってきました。



3年間での学業では成績上位を保ち、部活動では陸上部と茶道部を兼部し、陸上部では全道大会に出場することができました。ボランティア活動では釧路町の花壇ボランティアなどに参加し、地域の方々との交流ができました。

受験ではうまく行かないことが多かったですが、先生や友だち、家族の方々の支えがあり進路を実現することができました。

高校卒業後は釧路市立高等看護学院に進学し、患者様の役に立つ、支えることのできる看護師になりたいです。今は看護師について学べるのがとても楽しみです。また、看護以外でもボランティア活動がとても豊富なため、また地域の方々と交流し、社会にも貢献し多様な視点から学び続けたいと思っています。

看護学院卒業後は、私の生まれ育った釧路に恩返ししたいと考えています。なので、釧路の病院に就職し活躍して、信頼される看護師を次の目標にして学院生活も頑張っていきたいと考えています。

3年間のご支援、ありがとうございました。

嵯峨記念育英会 前理事長・吉田 潤司様



奨学生の皆さん、おめでとうございます。いま、お話のありましたとおり、今日は石田理事長がお話をするところでしたが、どうしても仕事で外せないという

ことで欠席となりましたので、直前の理事長でもありますので石田さんのメッセージを預かってきましたので、読ませていただきます。

卒業おめでとうございます。これまでの学生生活で多くの努力や挑戦をしてきました。未来への第一歩を踏み出す今、自分の夢や目標を信じて一歩ずつ進んでください。どんな困難にも負けず、自分の道を進んで行くことが大切です。

嵯峨記念育英会奨学生であったことを誇りに思いつて、自分を支えてくれた人々、特に大切なご両親への感謝の気持ちを持ち続けて、自分を信じて頑張ってください。

故郷の釧路を愛し、機会があれば釧路は素晴らしい所だと話してください。釧路LOVEを忘れないようにお願いします。

さあ、皆さんはいよいよ新しいスタートを切りました。素晴らしい未来が待っています。目標に向かって進みましょう。

公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会理事長 石田 博

代読です。おめでとうございます。

それでは、私から。

卒業生の皆さん、これからは、いろいろなことがたくさんあると思います。でも、何か困ったことがあったら、親に相談して下さい。よく、若い人は「親は分かってくれない」とか言いますが、親は少なくとも皆さんの倍以上は生きています。



ですから、たくさんの経験がありますので、アドバイスを真摯に聞いて判断をしてください。お友達

に相談するのもいいですけど、友達は自分と同じくらいしか生きていないのです。やっぱり、相談するのは親であって、親は正しい道を導いてくれます。

世の中に出ますと、いろいろな大変なことがたくさんあります。でも、面倒くさい道を進むのもひとつの方法です。お金を儲ける簡単な道に進むのではなくて、面倒くさい道を若いうちに進んで行けば必ず未来は開けます。

おめでとうございます。

嵯峨記念育英会委員会 西村 智久委員長

ありがとうございます。

ここで釧路ロータリークラブより卒業生お二人に記念品をお贈りします。

(記念品授与)

(写真撮影)

ここで、卒業生のお二人は退場されます。大きな拍手で見送ってください。(拍手)

本日は、ありがとうございました。

これにて嵯峨記念育英会の卒業生例会を締めさせていただきます。

司会 吉田潤司さんにお話しをお願いいたします。

吉田 潤司会員

また出てきましたが、育英会のことにつきましては、何回もお話していますが、私が話した後にもだいぶ経ちましたが。

育英会の歴史は皆さんご存じと思いますが簡単にお話させていただきます。

幣舞橋を渡ってロータリーから坂道を上りますと、右側、まなぼつとの反対側に立派な銅像があります。これは、釧路の漁業の先駆者と言われた嵯峨久さんの

素晴らしい銅像です。あのような銅像はこれからできないのではないかという銅像があります。ぜひ一度、ご覧になってください。

嵯峨久さんはロータリーの嵯峨育英会を考えた人です。亡くなったのは昭和35年ですが、その数年前の30年ころ、ちょうど米山奨学会ができたころに「自分は非常に苦学をしたけれど、何とか青少年に援助をしたい」といろいろな構想を持っていたのですが、当時は当然「育英会」という言葉を知らない人が多かったもので、書店にそういう本もない、インターネットもないということで、電話で問い合わせをするのですが当時の電話は空き回線を利用するので、なかなか進まなくて構想を持っていたのですが実現しなかったのです。そんな大変な思いをしたのです。

嵯峨さんは釧路の漁業の先駆者と言われました。当時の釧路港は、漁業の盛んな街でしたけど、まだ動力船がない時代でした。いわゆる風帆船と言って帆を立てて風を受けて走っていました。漁業効率がすごく悪かった。それよりも、嵐があったらすぐに帰って来ることができないことで大変事故が多かったのです。それで漁業の皆さんに「動力船をやりなさい」と薦めて、かなり広まったことで、漁業は効率が良くなり事故も無くなったのです。

この嵯峨さんは日本で初めて民間の力で岸壁を造った人です。今の副港の方に嵯峨岸壁の名残があります。岸壁を造って、そこに魚揚場、冷凍工場、冷蔵工場、無線基地、燃料基地などを造って漁業の近代化を行った方です。残念ながら昭和20年の空襲で全部壊されてしまったのです。

昭和35年に亡くなりました。息子さんに嵯峨晃さんがおりましたが、私がロータリーに入った時にはもういなかったのですが、亡くなった清水先生、泉先生は良く知っていて、大学を出た後は映画スターになりたいと言って格好が良かったそうです。浦見町に、いまの念法寺のある所に東映ホテルがありました。そこに例会前、早めに来てカウンターでウイスキーを飲んでいたので、それはそれは、格好いい人だったということです。

その晃さんが、お父さんの夢を継ぎたいと考えて、昭和37年に「嵯峨青少年育英会」をつくりました。この時、北海道が1つの地区だった昭和40年にガバナーになりました。仕事はものすごく忙しい、ガバナーは忙しい、大変な思いでした。嵯峨さんは組織もない中で、ひとりで育英会の学生を集めたり、寄付したり、いろいろなことをやっていました。あまりの忙しさに休眠状態になってしまいました。

当時、亡くなった泉さんのお父さん・ご家族も嵯峨さんと親しかったので、泉さんが幹事として育英会にいたのですが、泉さんが理事長代行だったのですが、泉さんも新進気鋭の弁護士で大変忙しくてなかなかうま

く行かなくて、休眠状態が続きました。昭和 50 年ころ、「奉仕の理想、奉仕の気持ちが同じロータリークラブに受け継いでもらいたい」と。ちょうど釧路クラブが創立 50 周年の時でしたが、釧路クラブが受けたということではなく、運営を受けたのです。その時には、嵯峨育英会の正式名称は、「釧路ロータリー嵯峨記念育英会」で、釧路ロータリークラブ嵯峨記念育英会ではないのです。この意味は、釧路に当時は、北クラブもあり釧路クラブもあり、そこに受けてもらうということで「釧路ロータリー」にしたのです。

それで、みんなで育英会をやったのですが、北クラブの理事の方、元々は釧路クラブにいた方が多かったのですが、やっていくうちに「釧路クラブが単独でやった方がいいじゃないか」と北クラブの方が手を引いてしまい、釧路クラブでやりました。この移行に時間がかかり、泉先生は相当苦勞をされて、釧路クラブに移管をした時代がありました。

その後、泉先生に代わってロータリーの会員の三原先生が理事長になって、このころが預金金利も良くて何も心配がなく一番安定した時期でした。だんだん預金金利が悪くなってきて、にっちもさっちも行かない状態になって、清水先生のアドバイスでは「このままでは育英会は成り立たなくなるぞ」と。当時、育英会を解散すると、基金は国に帰さなければならなかった時代でした。

それで随分苦勞をして、指導の北海道教育庁からも「投資をして給付金をつくることは行わないように」と言われていました。どうしても銀行とか国債しか頼られなくなって資金が足りなくなったことがありました。そうこうして、釧路クラブが 50 周年の時に、なんとか受けていただくことになりまして、今日まで

きました。これからも、今も預金金利は大変少ないですし、お金が足りないことでどうするか。

ただ、公益財団法人になりましたので、将来、なくなっても基金は返さなくてもいい。逆に、基金を取り崩してやって行けることになりましたので、いまましホッとしているのですけれど。理事の皆さんは、「嵯峨家から貰ったものを払って行って、つぶしてしまうことはそう簡単にできることではない」と。これも、これからの理事みんなで考えて行かなければならないことだと思います。

皆さま方は、会費の中で 4,000 円程いただいております。クラブから決算の時に余剰金が出たら 100 万円位いただいております。それ以上を増やすのには問題もありますし、お金をつくることは大変ですけど、なんとかいい知恵を出してやって行きたいです。

何年前からは給付金が 1 万円から 2 万円になっています。いまだき、1 万円の給付金では大変だとして 2 万円は、大英断で良かったと思います。ただそれをやることで、相当、財政が厳しくなったことですから、これも皆さんに良い知恵を出していただきまして、例えば、自分の会社で何かありましたらお祝いとして寄付をいただけることもお願いしたいと思います。

育英会の歴史はまだありますけれど、このような流れで今日まで来ていました。

今日も、高校生が来ましたが、この方たちを応援してなんとか役に立っていることをご理解と誇りに思っただけければと思います。

以上でございます。

